

平成23年度 学校評価自己評価中間評価表

1 経営理念

神石高原町立来見小学校

児童の今の幸せ、未来の幸せを築く 学校教育目標：知・徳・体の調和のとれた力をもった前向きな子どもの育成
(星の子：知 太陽の子：徳 風の子：体) 児童合い言葉 【気づき、考え判断行動し、ふりかえる】

2 経営目標

	中期目標	短期目標	取り組み	検証の指標	目標値	2学期末		評価	達成状況	担当
						達成値	達成度			
確かな学力	一人一人の児童に基礎・基本の定着を図り、生活に生かす力を持った児童の育成を図る	基礎学力の定着（算国単元・期末テスト平均値80%以上、県基礎基本平均値比100%以上）	体験等五感活動と言語活動の充実による思考力育成の授業改善	教師自評ノート	80	80	100	A	研究会のまとめとして、各自それぞれの実践をまとめ授業力の向上をめざして取り組みを進めた。児童も授業は楽しいと回答している。今後、事前にテスト前のまとめ練習において、個別の課題を解決していく。	教務部
			2ヶ月に1回の学力交流で誤答分析指導交流	アンケート類題正答	75	75	100	A	正答率の低い問題で、再指導後に改善がみられている。児童アンケートにおいても「間違えた問題ができるようになった。」と回答している。今後、再指導にとどまらず、理解不十分な児童に意味・理解の指導をしていくなどの改善を進める。	
			家庭学習は目的を意識させ、自律的に自己調整しながらさせる工夫	アンケート	75	95	127	A	家庭学習の意味（復習、予習《辞書引きを含む》）、仕方を指導し、工夫させ、評価することにより家庭学習の意味を理解し取り組んでいる。今後、休日の家庭学習の取組みをすすめていく。	
			「授業は楽しい」と思う児童にする	アンケート	75	95	127	A	教師・児童ともに95%が3回以上手を挙げていると回答している。挙手をするのは、児童にとっても自信となり、わかる・できる・楽しい授業へつながっている。意識の低い児童に対しては、問いに対して反応することも挙手になることを指導し、授業に積極的に参加をさせていく。	
			(1) 個に応じた指導の工夫と(2) 全体指導の工夫	教師自評アンケート	75	75	100	A	アンケートで教師が75%、児童が90%の達成であるが、今後さらに個に応じた指導について工夫・改善を行っていく。1月に校内研修を実施予定。今後、宿題と個別学習をリンクさせ、計画的に個別指導を実施していく。	
			読書好きにする	アンケート	75	73	97	B	新しい本の購入や図書室の掲示を工夫することで児童の読書への関心を高めている。図書委員会が読み聞かせの会を行うなど工夫改善を行っている。教師も朝の読書の時間に読み聞かせやブックトーク・本の紹介などをを行い、児童の読書への関心を高めていく。	
豊かな心・健やかな体	前向きで、自他を大切にし、生き生き生活する児童の育成を図る	志をはぐくむ 自己肯定感を高める	理想を求め、夢や希望がもてるようキャリア教育の視点からの自己学習・自己調整学習の実践	キャリアノートアンケート	80	85	106	A	児童は自分の夢をもっているが、人の役に立つという意味の解釈が十分にできていないと考えられる。今後、面談等で自分自身に自信を持たせていく。また、道徳の心のノート等を活用し、定期的に指導の中で確認をしていく。	保健生徒指導部
			生徒指導の基本である児童理解で信頼関係をつくる取り組み	アンケート	80	90	113	A	教師も一緒に外遊びをよくしている。日記指導や個人面談も計画的に行い、児童理解に努めている。また、子どもたちとよき関係を築けるよう積極的に「きく」機会をつくるなど、しっかりと関わっていく。	
			児童自己実現、自己効力感向上策を考え実践	アンケート	80	85	106	A	終わりの会で一日を振り返り、自分や友達のがんばりみつけを行い児童とともに喜びを共有している。今後も一日一日の成長を実感させる振り返りを行っていく。	
			行事や体験活動等で事前指導・事後指導の充実	ふりかえり作文 礼状：学期3	80	85	106	A	陸上記録会などの学校行事において、事前指導を行い、めあてを持たせ、振り返りの作文を書かせる等振り返りを行っている。社会見学の際には礼状を書き届けている。今後も見通しとふりかえりで目的意識をもたせ評価させ、感謝の気持ちをもたせる取り組みをしていく。	
			利他・絆力を育てる	アンケート	80	85	106	A	「おはよう」「こんにちは」のあいさつはどの学級も100%実施できている。今後、「どうぞ」「よかったね」というような心のこもった行動や会話を評価しながら意識をさせていく。	
心身の健康・体力向上を図る	健康・体力の向上を図る	体力向上策の取り組み	カード記入実績	80	100	125	A	1学期より体力作りに取り組み、その成果が町内陸上記録会や校内持久走大会においてみられている。各自目標を持ち取り組むことができている。3学期は、跳ぶ回数などの目標を決めさせ、意欲を持たせることで縄跳びタイムを充実させていく。	保健生徒指導部	
		ともに遊ぶ外遊びの取り組み	アンケート	80	100	125	A	異学年とも遊んだり、男女一緒に遊んだりして仲良く生活することができている。今後とも定期的に児童との遊びの機会を持つよう学級遊びを仕組んでいく。		
		生活リズム3点固定習慣化の取り組み	チェック3点達成率	80	85	106	A	朝食の摂食・朝のあいさつはよくできている。今後肩もみと読書の数値を改善するよう、その活動のねらいを児童と一緒に考えていく。		
信頼される学校	学校から家庭・地域への情報発信をし、又受信をし信頼される学校をつくる	安心・安全を高める	経営方針の実践と意味価値を伝え、協同体制構築	月1回以上	80	100	125	A	学校だより・学級通信・ホームページ等で、学校の様子や学習の状況等とその意味・価値を伝えるよう努めている。今後も普段の子どもの様子等をわかりやすく伝え保護者・地域との絆を深める。	総務
			面接やアンケートで児童理解を深める取り組み	学期1	100	100	100	A	問題が起きたら、迅速・誠実に対応し指導するよう努めている。何が問題なのかを考えさせ、話し合いをさせ、自分の言葉で何が問題か、今後どうしていくのか語らせるようにしている。それを保護者に伝え、家庭でも話し合ってもらいともに見守り指導するようにしている。今後もきざしを見逃さず、早期に対応をしていく。	生指
			不祥事防止委員会、相談体制の研修で整備充実	委員会月1	100	100	100	A	不祥事防止委員会を毎月1回以上実施し、服務研修の内容を検討するなど機能化させている。研修ではロールプレイングの研修を多く取り入れている。今後も体験的な研修で、使命と責任を身体でとらえられるよう、工夫していく。	総務
			能力と郷土愛を育てる	アンケートノート	75	100	133	A	総合的な学習の時間・生活科や各教科において地域学習に取り組むことができた。学習の成果を学習発表会において発表することができた。今後、クラブ発表会やふれあいまつりに事前・事後指導を徹底し、目的・目標を意識化をさせていく。	教務

3 評価規準

【A】 目標を達成した 【B】 どちらかという達成した 【C】 どちらかという達成できなかった 【D】 達成できなかった